

平成 20 年度

事業報告書

自 平成 20 年 4 月 1 日から

至 平成 21 年 3 月 31 日まで

学校法人 純心女子学園

長崎市三ツ山町 235 番地



4 役員・教職員の人数 (平成20年5月1日現在)

(1)役員 理事 9名 (うち、理事長1名、常勤理事5名) 監事 2名

(2)教職員

	専任教員							非常勤 教員	教員 合計	職員		職員 合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	計			専任	非常勤	
法人										1	0	1
長崎純心大学	36	20	14	1	5	0	76	152	228	36	17	53
純心女子高等学校						52	52	17	69	8	10	18
純心中学校						17	17	5	22	1	3	4
純心幼稚園						9	9	2	11	1	7	8
聖心幼稚園						7	7	0	7	1	5	6
純心保育園						0	0	0	0	7	2	9
合計	36	20	14	1	5	85	161	176	337	55	44	99

## 【Ⅱ】事業の概要

近年のグローバル時代の到来と急速に進む少子化社会にあつて、教育機関の担う役割に対する社会的要請が「時代の変化に合う教育」、「大学教育の質保証」等々具体的に示されるようになった。本学園の平成20年度は、学園の中・長期目標・計画である教育研究体制及び教育環境の充実を継続しつつこれらの要請にこたえるべく目標を設定し、以下に示す事業を実施した。

### ① 法人

#### 1. 認定こども園発足

平成19年度に「認定こども園」に関し、長崎県知事宛認定申請を提出し、認定に向け準備を進めていたところ、平成20年3月28日付認定書が交付されたことを受け、4月1日「認定こども園」として歩み始めた。

定員は、保育に欠ける子 50名、保育に欠けない子 160名 合計210名

#### 2. メディアオフィスの開設

迅速な情報発信並びに情報公開が求められている現代社会において、本学園においても迅速な情報発信や情報公開の実現を目指し、懸案となっていた「メディアオフィス」を設置し組織的に対処することに着手した。

### ② 大学

#### 1. 人材の養成並びに教育研究上の目的に適うカリキュラム改善と学則変更

平成21年4月実施に向け、各学科において検討された。主な内容は以下の通りである。

イ) 社会福祉士及び介護福祉士養成施設等の制度改正により、社会福祉に関する科目、介護福祉に関する科目が改正されたことに伴い、授業科目名、単位数、開講年次の追加、変更等が行われ、所轄官庁への手続きが完了した。

ロ) カリキュラム改善に係る基本方針

①「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に適うものとする

②第一期中期目標計画遂行の成果を踏まえ、第二期中期目標に備える

③大学(大学院)開設14周年(10周年)を契機とする発展を見定めた将来計画展望を視野に置く

上記3点に置き、Ⅰ継続(維持)、Ⅱ改善すべきもの(主として「基礎科目」を中心に)の両面から具体的課題を取り上げ、総合的に検討し、学則変更を行い文部科学省への届出を完了した。

#### 2. 補助金等

##### 1) 平成20年度私立大学等経常費補助金特別補助の申請(平成20年度審査結果 採択12件)

##### ・平成19年度からの継続 9件

①卒論一貫指導を通した多様な教育内容の体系化の試み  
②大学と実習施設の連携による福祉実習教育の体系化に向けて

③高校生向け福祉啓発冊子作成に関する高大連携事業

④大学と関連福祉施設の協働による研究・教育の統合をめざして

⑤当事者との交流や障害体験に基づく人権意識醸成の教育

⑥小学校英語教育地域連携プロジェクトー長崎市内ならびに県内の小学校英語教育協力校における教育活動推進ー

⑦英語力向上推進のためのラーニングサポート・ラーニングマネジメント総合システム開発研究ー人材育成を視野に入れたコンテンツとハードの創造ー

⑧人や自然とのふれあい体験を通しての「共感」教育の実践

⑨学生の実体験を重視した地域社会との連携による教育活動「卒業記念エキシビション」の実践

##### ・平成20年度新規採択 3件

①長崎学再考

②地域における大学博物館の創造

③英語卒業論文作成に向けた4年間一貫指導支援体制の構築

##### 2) 平成20年度科学研究費補助金

基盤研究(B)新規2件 片岡瑠美子・宮坂正英

基盤研究(C)継続1年 宮崎賢太郎 計3件

##### 3. 学内共同研究及び教育推進の成果

(1)『エイズ学会事規程』『児童保育入門』の刊行

(2)次年度への継続研究課題

##### ・共同研究 2件

①保育士養成における実践的ピアノ実技指導とその評価基準の設定

②PISA型読解力を養う教材・指導方法・評価の研究

##### ・教育推進 1件

①英語力格差解消に向けた個別化学習習慣形成支援

##### 4. 高大連携プログラム

「PISA型リテラシー向上プログラム」の実施(次年度への継続事業)

##### 5. 「教員免許状更新講習会」の開設の申請と認可

本件については「長崎県教員免許状更新講習連絡協議会」を県内国公私立大学共同で設置し、文部科学省に申請・認可され本学においては平成21年8月1～5日に全プログラムを実施する。

平成21年3月31日で本学への受講手続きは募集定員を充足している。

##### 6. ペトロ岐部と187殉教者列福式への協力

平成20年11月24日時折降りしきる雨の中ビッグNスタジアムにおいて執り行われ、本学教職員・学生300名超が会場案内等を担当し無事終了することができた。

##### 7. 日本カトリック大学連盟総会

標記会議は6月6日～7日の2日間、本学の当番で実施された。

主な審議内容は、規程の確認、19年度奨学金・研究費等の決算審議、20年度予算を審議し、事務局案を承認した。

##### 8. S D研修会の実施

本学では毎年全教職員参加のF D研修会を実施し、教育に関する1年間の反省と、今後の教育方針や人権問題、規程の整備、校務分掌、当該年度の基本方針・事業計画などの説明を受けている。

しかし、大学審議会の指摘事項『大学運営業務についての事務組織による更なる支援体制』の整備が重要と考え20年度から実施することとした。

第1回は、9月22日南山大学の会沢俊昭事務部長に講師をお願いし、「事務組織のあり方と職員の役割」と題して南山大学が実施した改革を事例に分かりやすく説明していただき参考となった。

講演の後、3班に分かれ本学が抱える問題点を洗い出し、その解決策を討議し、その内容について報告を行った。

第2回は、12月26日日本福祉大学の篠田道夫常任理事を講師に「大学を取り巻く厳しい状況の中で、大学職員の果たす役割」と題して講演していただいた。

他大学の事例を示しながらの広範にわたる内容は、今後の参考としたい。

第1回同様3班に分かれ討議し、内容について報告を行った。

2回の研修を通じて改善・改革の視点が見出せたようであり、今後引き続き改善の方策について検討会を継続することとしている。

## 9. 事務システム

イ) 事務システム再構築

20年度新たに次のシステム開発を行った。

①大学院・特別学生のシステム

EXCELなどを使用して個別に管理していた大学院・特別学生のデータを事務システムで集中管理。

このことにより、学部生のデータと同様な管理が可能となった。

【改善点】

データ入力から資料作成までを自動化

不正アクセス防止

サーバーによるデータバックアップなど安全面の強化

②非常勤講師授業実施システム

タッチパネルパソコンに表示された時間割画面から実施授業を登録

【改善点】

これまで紙ベースで行っていた非常勤講師による授業実施報告の手数軽減

作業実施報告から資料作成までを自動化

教務職員が不在でも行えるタッチパネルでの授業実施報告が可能

③成績証明書・学籍原簿の電子データ化

紙で保管されている成績証明書や学籍原簿、約3万枚を電子データ化した。

【改善点】

検索から印刷までを自動化

サーバーによるデータバックアップなど安全面の強化

ロ) 21年度新カリキュラム対応作業

科目数：1,683件

開講教員数：262名

21年度からの新カリキュラムにより、1,997件の約半数が入れ替わるため、20年度後期から協議を重ね進められた。特に卒業・資格に係わる様々な要件の検証を繰り返し行った結果、履修登録を昨年より約1週間早めることができ、また授業回数15回(半期)確保に貢献できた。

ハ) 事務用ファイルサーバー再構築

ファイルサーバー機器の老朽化、保存容量の拡大などの理由により、安定性・安全性の高い機種への構築を図った。

## 10. 施設整備・改修

イ) ザビエルホール改修

三ツ山地区整備計画の一環で、児童保育学科の一部教員室改修及び教室の整備を実施

ロ) カタリナホール改修

三ツ山地区整備計画の一環で、旧学事部室を改修し、実習室を整備

ハ) レクリエーションホール屋根修理

ニ) C棟一階トイレ壁タイル張替

ホ) 警備業務委託：近年夜半に不審者を見かけることから、安心・安全の確保から実施

ヘ) 水源ボーリング工事：四年制大学並びに大学院の完成に伴い学生が増員したことから、水量確保のため実施

## ③ 純心中学校・純心女子高等学校

### 1. 教育

イ) 高大連携によるプログラムの充実化

○ 英語プロジェクト：中学生の英語基礎力を要する生徒を対象にチュータープログラムを取り入れ英語教育法を履修した純心大学2年生23名が学習個人指導を実施し充実を図った。

○ 中学校全校生徒が第3回英語検定を受験。準2級、3級、4級の上位取得。

○ オンライン部門：高校1年生が総合学習時間でグループごとで、純心大学と韓国のハンナン大学が行っている掲示板交流に参加した。

高校3年生は英語コースの「CALL 英語」の授業で掲示板を紹介し投稿。

○ 高校2年生の総合コースを対象に週1時間 大学の教員による「PISA型リテラシーの向上」を目標にした授業が行われた。生徒は「読む・書く・聞く・話す」の4言語能力に力点を置いた指導のもと成果を上げてきている。

ロ) 長崎県高等学校文化活動推進指定校の合唱部門で高校音楽部がA指定校。中学校コーラス部が推進指定校。高校ハンドボール部・ソフトテニス部が推進指定校。

### 2. 中学校学力調査

○ 全国学力学習調査に中学3年生が参加した。今年度は2回目であったが、昨年同様結果は全国平均・長崎平均を上回った。

○ 学力推移調査(ベネッセ)を全校生徒が受検し、英語・国語・数学の結果に基づいて生徒・教師へのサポートが明示され、学習指導に大いに役立っている。

### 3. 国際交流

イ) 中学3年生6名が3月にカリフォルニアの姉妹校セントローレンスアカデミー校を訪問し16日間にわたって生徒宅にホームステイしながら学校生活を体験し交流を深めた。10月にはセントローレンスアカデミー校生徒14名(引率2名)が来校し、10日間滞在し交流を深めた。

ロ) メキシコ市の日本メキシコ学院より中学・高校生4名が来校し授業等で交流した。

ハ) 釜山の姉妹校テレサ女子高等学校を本校高校2年生16名が訪問し、生徒宅に4日間ホームステイし交流を図った。

ニ) バンクーバーにて本校高校生11名が語学研修とホームステイを2週間行った。

ホ) 姉妹校テレサ女子高等学校生徒15名が本校を4日間訪問し、生徒宅のホームステイと学校生活体験を通して交流を深めた。

ヘ) 韓国高校教師35名が本校を訪問し本校教員と情報交換を行い、先生方との交流の機会を持った。

ト) セントメアリーアスコット校の生徒27名が来校し、高校Ⅱ英語クラスと交流した。

### 4. 行事

イ) 「高校生の文化公演会」を企画し、講師に三宮麻由子先生を招き、「響きあう毎日」と題して公演を聞いた。4歳で光を失った先生の心の耳で音を聞く楽しさ、見事にピアノを弾きこなす姿に触れ、高校生は生きる力のメッセージを頂いた。

ロ) シエラレオネ(アフリカ)のルンサで30年間にわたる教育活動をなさっておられる御聖体の宣教クララ会のシスター根岸美智子を迎えてアフリカの子供たちについて講話を聞き、その折、生徒会や職員が募金活動を行い支援金を差し上げた。

ハ) 長崎県美術館「船越保武展」オープニングセレモニーに中学生全員が参加

ニ) ペトロ岐部と187殉教者列福式に高校音楽部と生徒、教職員・一般生徒が参加。列福式雲仙祭で中学コーラス部が合唱を披露した。

ホ) 永井隆生誕100年記念行事 舞台劇「長崎の鐘」を全校生徒とマリア学院中学生を招いて、ブリックホールで鑑賞し永井先生の精神を学ぶ機会とした。

ヘ) 「バチカンの名宝とキリシタン文化」の特別展企画が長崎県歴史博物館で開催され、オープニングセレモニーで高校音楽部がグレゴリアン聖歌と長崎殉教の歌を披露した。

ト) 性教育の一端として、安日泰子氏(やすひウイメンズクリニック院長)を講師に招き「からだ 性 ころ」と題しての講演を高校生と保護者対象に行った。

チ) 長崎県高等学校舞台芸術巡回公演「能・狂言」をチトセピアホールで高校2年生が鑑賞。

## 5. 社会貢献

ミゼリコルディア部は長年にわたる街頭献血活動が讃えられ、第12回全国ボランティア・スピリット「コミュニティ賞」を受賞

## 6. 施設整備

イ) 総合ガードシステム警報装置設置

ロ) 生徒通学用門設置

ハ) ロザリオ館全階トイレ床張替工事

ニ) 学园内受水槽再整備工事

ホ) NET SHAKER5.0 FOR SCHOOL 他

ヘ) 液晶プロジェクター他

ト) エキスパーション改修工事

チ) 第二視聴覚室エアコン取替工事 ほか

## 7. 職員研修

イ) 生徒募集の背景(県の動き・指導要領の改訂・財務・学校評価)を踏まえて、グループでの話し合いと全体討議の形式で今後の問題と対策の研修

ロ) 学園祭の経緯と現状の問題点を考え今後のあり方を研修

ハ) 「長崎純心大学現代福祉学科教授 加来洋一氏(精神科医)」を招き、「高校生の精神疾患と症状—最近の傾向から」と題して講演と本校の事例に対する指導と助言を得た。

## 8. 教育免許更新制による免許更新を申請(教員6名)

## ④ 純心幼稚園

### 1. 認定こども園発足

イ) すべての子供に教育・保育の場を提供するため、3歳以上の子供は通常時間帯は幼稚園児・保育園児ともに同じ保育内容、時間割、保育形態の中でモンテッソーリ教育を通して人格形成を培う

ロ) 行事は、計画の段階から話し合いを密にして、特別な問題がない限り一緒に行った内容として、誕生会、夏祭り、運動会、生活発表会、卒園式を実施

ハ) 食育について…純心幼稚園は、家庭のぬくもりと愛のこもった弁当が一つの姿であった。

その中であって、認定こども園の一つの柱である食育の推進が浮上し、給食への移行をとの機運が高まってきた。従来弁当を大切にしてきた風潮の中で給食への移行にあたり、保護者の賛同を得ることを大切にしながら幼稚園側の意向・取組み・姿勢を丁寧に説明するための会をもち、食育に関する講演会を開催するなど理解を深めるよう努めた。

ニ) 預かり保育延長…幼稚園も保育園と同じく、最高7時30分まで保育時間を延長した。

## 2. 幼大連携

イ) 純心大学の教員による援助活動

陶芸教室、科学の世界、夜空の星の観察会、障害児の援助、クリスマスのサンタクロースなど

ロ) 実習生の受け入れ

教育実習、モンテッソーリ教育実習、認定こども園実習ほか

## 3. 子育て支援活動

イ) 講演会

岡本仁美先生：モンテッソーリと子育て日常生活

飯笹よし子先生：子育てを考える。

長崎県インストラクターによる：「がんばらば体操」実技

ロ) てんし組：2歳児親子を対象に…園庭開放、リトミック、親子体操を実施

ハ) ばんび組：0-1歳児親子を対象に…親子製作「絵本の読みきかせ」、ボディタッチング、身体測定

ニ) さくらんぼ組：2歳児を対象に…モンテッソーリ教育に出会う活動を通して理解を深め、入園へのスムーズな移行ができるよう準備し、確実に入園につなげるようにする。

## 4. 宗教活動

イ) 園児対象：月1回の計画で年齢別又は全体でのお話を行う。

聖母月、聖母行列、殉教者について

始園式、終園式を学園聖堂で行い、祈りのときをもった。

ロ) 勉強会：保護者…毎週木曜日、金曜日

## 5. 園児募集

イ) 子育て支援の未就園児クラスから入園につながる事が確実なルートであることから、入園前の子どもとその保護者との信頼関係を密にして、大切に関わるようにしている。

ロ) 地域のショッピングなどに、募集要項、チラシを掲示

ハ) 職員が手作りのポスターを作成し掲示

ニ) NBC・TV「あっ！ぷる」に生中継

110番アピールの110番電車の出発式に年長組が参加

## 6. 施設整備

イ) 図書館屋上防水工事

ロ) 給食設備及び食器関係

ハ) 認定こども園発足に伴う施設・設備整備

看板設置 ほか

## ⑤ 聖心幼稚園

### 1. 行事の見直し

イ) 保育参観

モンテッソーリ教育の縦割りクラスの利点をより理解して頂くために、従来の年齢制活動の保育参観を縦割りクラスの通常保育の形態で行った。

ロ) バザー

社会情勢に伴い、保護者の負担を軽減して全員が参加・協力できるように内容をリニューアルして「キッズフェスタ」として実施した。

### 2. 宗教活動

イ) 年齢別に月1回または合同でお話の時間を決めた。

ロ) 聖母行列、クリスマス会、七五三は保護者も参加して親子でお祈りのひとときをもった。

ハ) 始園式、終園式、創立記念日は聖堂で行った。

### 3. 職員研修

イ) 子ども発達センターより特別支援の担当者を迎え、補助の必要な子どもの視察と障害に応じた対応や補助の仕方を学んだ。

ロ) 安全管理の面で正しい消火器の使用法と初期消火の指導を受けた。

### 4. 地域との関連

イ) 四ヶ町商店街の連合会の依頼で、年長組がアーケード天井に七夕の飾りつけの共同制作を展示。

又、こどもの日スケッチ大会に応募して5名が入賞

ロ) J R の鉄道フェスタに年長組全員出演

### 5. 下村博士 ノーベル化学賞受賞

10月31日 第5回卒園生の下村脩氏のノーベル化学賞受賞の朗報が入り、佐世保市の担当課の要請により在園当時の資料(卒園名簿、卒業記念アルバム)を提供した。

子どもたちに、ていねいにニュースの意味を説明して将来の励みとした。また、母の会と合同でお祝いの横断幕を設置。

全園児がTBS TVを通して「下村博士おめでとうございます」と元気なお祝いのエールを送った。

3月21日栄誉市民顕彰式に母校代表として園児5名が参列した。

### 6. 施設整備

イ) スクールバス購入

ロ) 印刷機購入

## ⑥ 純心保育園

### 1. 認定こども園

平成20年4月1日より認定こども園として開園し、保育園児3歳以上児は幼稚園のクラスに入り8時45分～15時まで一緒に過ごしている。

(参考)3月末保育園児…29名、4月1日保育園児…27名

### 2. 給食

毎月給食検討会を実施

平成20年10月より火・木の週2日間幼稚園児も給食開始

### 3. 避難訓練

避難訓練は、毎月実施しているが、20年度は幼稚園の中に保育園児が入っているため、避難訓練の時間調整に苦慮したが今後に生かしたい。

### 4. 行事

3歳児以上は幼稚園の行事に参加可能なものに参加することとした。

幼稚園行事参加：誕生会、交通安全指導、すいか割り、夏祭り、運動会、理事長のお祝い会、お芋ほり遠足、聖母行列、七五三のお祝い会、観劇、クリスマス会、初聖体ミサ、豆まき、お別れ遠足、お別れ会食、卒園式  
保育園行事：誕生会、すいか割り、お芋ほり遠足、聖母行列、七五三のお祝い会、クリスマス会。もちつき会、豆まき、お別れ会食

### 5. 施設整備

認定こども園発足に伴う施設整備

イ) 看板設置

ロ) オーニング工事

## 【Ⅲ】財務の概要

### 平成20年度決算の概要

20年度決算について、その主な内容についてご報告いたします。

なお、学校法人の計算書類は、1年間の学園諸活動を資金の入りと出の流れに基づいて計数化した「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」及び財産目録からなっており、いずれも私立学校法第7条及び学校法人会計基準第4条に従って表示しています。

#### A 資金収支の状況

「資金収支計算書」は、当年度の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容並びに年間の現金・預金（支払資金）の収入と支出の状況及び資金の顛末を明らかにすることを目的とした計算書類である。そのため、収入科目と支出科目いずれにも、今年度の事業であっても資金取引が発生しない未収入金や翌年度活動の前受金及び年度未払金等の調整勘定及び翌年度取引分の前払金等を計上することにより、当年度諸活動の全内容及び資金の顛末を明確にしている。

当年度の資金収入合計は前年度繰越金を含め38億8千6百万円となり、予算に対し前受金及び納入金、補助金等の増額により41百万の増となった。前年比では事業収入が保育園完全実施により増加したものの、その他の科目においては西彼純心幼稚園の廃園により減額となっている。

資金支出の部では人件費及び教育経費、管理経費等支出の節減も影響し予備費未使用を含め予算比57百万の減となった。結果的に次年度繰越金98百万円の増額となり繰越支払資金として10億69百万円となり、前年度繰越金を維持することができた。

#### B 消費収支の状況

「消費収支計算書」は、資金収支計算と異なり当年度の外部資金を伴わない自己資金のみの収支内容を明らかにし、消費収入・消費支出の均衡状態を明らかにすることを目的とした計算書類である。

なお、施設設備整備及び基金特定積立・施設等積立（計画的施設等購入引当預金等）は自己資金である帰属収入より基本金組入形式で表示し、基本金組入後の消費収入と消費支出が長期的に均衡していることが経営の安定強化に繋がるとされている。

今年度は帰属収入である債務のない収入は27億1千6百万円となった。うち控除形式で表示している基本金組入は、1号基本金から4号基本金があり（別記説明参照）、1億88百万円組入れた。結果、消費収入合計は25億2千7百万円、消費支出合計24億9千万円となり、当年度消費収支差額は法人全体で36百万円の消費収入超過となり、予算比6千万の増となった。

20年度基本金組入の概要は1号基本金に55百万（新規設備関係）2号基本金1億5千万（学園建物建替資金及び大学校舎改造資金）3号基本金5百万（奨学金2種基金）である。なお、1号基本金内22百万は大学校舎改造資金として計画的に組入た2号基本金を充当し振替たものである。なお、第4号基本金組入は、20年度発生していない。

### 資金収支計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,934,704,100	1,944,591,753	△9,887,653
手数料収入	29,564,000	27,385,730	2,178,270
寄付金収入	4,574,000	8,208,800	△3,634,800
補助金収入	535,588,000	537,592,742	△2,004,742
国庫補助金収入	160,000,000	153,282,000	6,718,000
地方公共団体補助金収入	375,588,000	384,310,742	△8,722,742
資産運用収入	76,784,000	79,225,026	△2,441,026
事業収入	88,048,000	69,634,375	18,413,625
雑収入	91,488,000	93,071,504	△1,583,504
前受金収入	253,785,000	293,141,000	△9,356,000
その他の収入	167,506,000	171,432,993	△3,926,993
資金収入調整勘定	△371,998,000	△371,006,658	△991,342
前年度繰越支払資金	1,034,437,564	1,032,913,856	1,523,708
収入の部合計	3,844,480,664	3,886,191,121	△41,710,457
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,871,345,000	1,852,776,256	18,568,744
教育研究経費支出	387,807,700	377,639,501	10,168,199
管理経費支出	109,706,000	100,348,833	9,357,167
借入金等利息支出	2,755,345	2,754,131	1,214
借入金等返済支出	39,347,000	39,347,000	0
施設関係支出	31,431,000	31,011,906	419,094
設備関係支出	52,543,306	50,851,576	1,691,730
資産運用支出	304,800,000	304,755,275	44,725
その他の支出	86,518,115	86,510,768	7,347
予備費	16,926,234	0	16,926,234
資金支出調整勘定	△29,590,000	△29,037,305	△552,695
次年度繰越支払資金	970,890,964	1,069,233,180	△98,342,216
支出の部合計	3,844,480,664	3,886,191,121	△41,710,457

### 消費収支計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位 円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,934,704,100	1,944,591,753	△9,887,653
手数料	29,564,000	27,385,730	2,178,270
寄付金	4,924,000	12,526,720	△7,602,720
補助金	535,588,000	537,592,742	△2,004,742
国庫補助金	160,000,000	153,282,000	6,718,000
地方公共団体補助金	375,588,000	384,310,742	△8,722,742
資産運用収入	76,784,000	79,547,977	△2,763,977
事業収入	88,048,000	70,251,330	17,796,670
雑収入	42,408,000	44,301,173	△1,893,173
帰属収入合計	2,712,020,100	2,716,197,425	△4,177,325
基本金組入額合計	△225,347,000	△188,381,984	△36,965,016
消費収入の部合計	2,486,673,100	2,527,815,441	△41,142,341
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	1,796,755,000	1,773,404,106	23,350,894
教育研究経費	593,239,700	584,704,763	8,534,937
(内、減価償却額)	205,432,000	206,797,382	△1,365,382
管理経費	138,756,000	128,024,448	10,731,552
(内、減価償却額)	29,050,000	27,675,615	1,374,385
借入金等利息	2,755,345	2,754,131	1,214
資産処分差額	2,513,000	2,055,862	457,138
予備費	22,996,655	0	22,996,655
消費支出の部合計	2,557,015,700	2,490,943,310	66,072,390
当年度消費収入超過額	0	36,872,131	
当年度消費支出超過額	70,342,600	0	
前年度繰越消費収入超過額	1,051,516,817	1,051,516,817	
翌年度繰越消費収入超過額	981,174,217	1,088,388,948	

(参照：基本金に関する説明)

基本金とは、学校法人が、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、授業料などの負債性のない収入（帰属収入）のうちから組入れた金額

基本金の種類

- ①第1号基本金…設立当初及び新たな学校の設置もしくは、既設の学校の規模の拡大や教育の充実向上のために取得した固定資産の額
- ②第2号基本金…将来取得する固定資産に充てるために、事前に計画的、段階的に積み立てる金銭その他の資産の額
- ③第3号基本金…奨学基金、研究基金など継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額
- ④第4号基本金…恒常的に保持すべき資金として、不測の事態に備える所定の運転資金

C 貸借対照表

「貸借対照表」は年度末の財産状態を明らかにすることを目的としている。資産の保有状態と資産の取得源泉を対照することにより財産の状態を把握できる。

資産の部においては1億5千4百万円の増額の反面、有形固定資産が減となっているのは20年度減価償却額が主な要因となっている。その他の固定資産の増額は施設の計画的引当特定預金及び奨学金基金への繰入による。負債の部では借入金及び退職給与引当金の固定負債が減少し自己資金2億25百万の増額となった。

貸借対照表

平成21年3月31日まで

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	20年度末	19年度末	増 減
固 定 資 産	11,490,835,134	11,357,874,007	132,961,127
有 形 固 定 資 産	6,279,776,928	6,429,912,121	△150,135,193
土 地	438,254,404	438,254,404	0
建 物	4,618,009,897	4,757,707,155	△139,697,258
その他の有形固定資産	1,223,512,627	1,233,950,562	△10,437,935
その他の固定資産	5,211,058,206	4,927,961,886	283,096,320
流 動 資 産	1,158,063,436	1,136,940,262	21,123,174
現 金 預 金	1,069,233,180	1,032,913,856	36,319,324
その他の流動資産	88,830,256	104,026,406	△15,196,150
資産の部合計	12,648,898,570	12,494,814,269	154,084,301
負 債 の 部			
科 目	20年度末	19年度末	増 減
固 定 負 債	720,350,787	790,466,542	△70,115,755
長 期 借 入 金	176,870,500	216,857,500	△39,987,000
退職給与引当金	543,480,287	573,609,042	△30,128,755
流 動 負 債	411,531,094	412,585,153	△1,054,059
短 期 借 入 金	39,987,000	39,347,000	640,000
前 受 金	293,141,000	294,087,500	△946,500
その他の流動負債	78,403,094	79,150,653	△747,559
負債の部合計	1,131,881,881	1,203,051,695	△71,169,814
基 本 金 の 部			
科 目	20年度末	19年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	9,195,965,170	9,141,368,369	54,596,801
第 2 号 基 本 金	794,174,294	666,156,200	128,018,094
第 3 号 基 本 金	258,488,277	252,721,188	5,767,089
第 4 号 基 本 金	180,000,000	180,000,000	0
基本金の部合計	10,428,627,741	10,240,245,757	188,381,984
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	20年度末	19年度末	増 減
翌年度繰越 消費収入超過額	1,088,388,948	1,051,516,817	36,872,131
消費収支差額の部合計	1,088,388,948	1,051,516,817	36,872,131
科 目	20年度末	19年度末	増 減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	12,648,898,570	12,494,814,269	154,084,301

(注 記)

1. 重要な会計方針

引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、未収発生会計年度末から3年経過した日の属する会計年度末に実績に応じ個別に計上する。

退職給与引当金

大 学 期末要支給額 619,331,446円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

高校以下 期末要支給額 486,481,743円から長崎県私立学校退職金財団よりの交付金相当額を控除した100%を計上している。

その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的有価証券の評価基準は償却原価法である。

有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法に基づく原価法である。

所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

預り金に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

学生食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法

補助活動に係る収支は半純額表示であり、総額表示科目は人件費、施設・設備費、借入金純額表示科目は補助活動収入及び経費関係である。

2. 重要な会計方針の変更等 なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 3,043,372,221円

4. 徴収不能引当金の合計額 0円

5. 担保に供されている資産の種類および額 土地23,166,780円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金の組入れを行うこととなる金額 216,857,500円

7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するための必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

(単位 円)

種 類	当 年 度 (平成21年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	750,863,635	773,738,400	22,874,765
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	907,668,190	807,713,954	△99,954,236
合 計	1,658,531,825	1,581,452,354	△77,079,471

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

リース資産の種類	リース料総額	未經過リース料期末残高
教育研究用機器備品	63,818,820	39,984,209
その他の機器備品	4,457,880	3,064,845
車 両	15,038,100	8,695,470
合 計	83,314,800	51,744,524

(3) 純額及び総額で表示した補助活動に係る収支

純額で表示した補助活動に係る収支の相殺した科目及び金額は次のとおりである。

支 出	金 額	収 入	金 額
管理費支出	95,568,531	補助活動収入	121,400,436
計	95,568,531	計	121,400,436
純 額			25,831,905

